

# 特別企画展

## 白隠禅師とその弟子たち

“駿河には過ぎたるものが二つあり、富士のお山に原の白隠”と謳われ、臨済宗中興の祖ともいわれる白隠禅師は、庶民に分かりやすく禅の教えを説くため、多くの禅画・墨蹟を遺し“白隠さん”と呼ばれ親しまれました。

その白隠さんが亡くなってから250年が経ちますが、その書画は国内はもちろん、海外でも高い評価をうけています。

この度は郷土資料室リニューアルを記念し、長福寺様他のご協力を得て、禅師とその弟子たちの禅画・墨蹟を展観します。

どうぞ、“白隠さん”の説かれた禅を体験して下さい。



半身達磨図 (部分)



草坐達磨図



布袋指天図



鉄棒図



南無地獄大菩薩

**会期** 平成31年2月24日(日)~4月28日(日)

**会場** 西条市立小松温芳図書館 2階 郷土資料室 TEL 0898-72-5634

**時間** 9時~17時(図書館は19時まで)

**休館日** 毎週水曜日と2月28日、3月8日~3月14日、3月31日

**後援** 白隠さんの会・臨済宗妙心寺派、四国東教区、四国東教区第5部